

No.74

12月定例会号

平成26年1月25日

高浜市議会だより

ひいぶる

- P.2~3 ……平成25年12月定例会「議案審議」、「請願・陳情」
- P.4 …… 「議案等に対する各議員の態度」
- P.5 ~11… 「請願・陳情」、市政のここが聞きたい「一般質問」
- P.12 …… 議会改革特別委員会中間報告、議会報告会アンケート結果、
平成26年第1回臨時会・平成26年3月定例会「日程」等



年末特別警戒大監視活動
活動風景



編集 市議会だより編集委員会

発行 高浜市議会 高浜市青木町四丁目1番地2

電話 0566-52-1111 FAX 0566-52-1122

Eメール gikai@city.takahama.lg.jp ホームページアドレス <http://www.city.takahama.lg.jp/grpbetu/gikai/index.html>

議
案
審
議

平成25年12月高浜市議会定例会が、12月2日から19日までの18日間の会期で開かれました。

審議された議案等は次のとおりです。なお、議案等の件名は、4ページの「議案等に対する各議員の態度」の件名欄をご参照ください。

条例等

【議案第55号】
消費税法等の一部が改正されたことに伴い、水道料金等に係る消費税の税率を8%に改定するもの。

【議案第56号】
消費税法等の一部が改正されたことに伴い、公共下水道使用料の額に係る消費税の税率を8%に改定するもの。

【議案第57号】

高浜市三高駅西駐車場

の指定管理期間の満了に伴い、指定管理者として平成31年3月31日まで引き続き株式会社日本メカトロニクスを指定するもの。

人事院勧告に基づき、平成26年1月1日から55歳を超える高齢層職員の昇給抑制を行うもの。

【議案第58号】

【議案第59号】
高浜市南部ふれあいプラザの指定管理期間の満了に伴い、指定管理者として平成31年3月31日までの間、引き続き特定非営利活動法人高浜市生涯学習施設運営協議会を指定するもの。

【議案第61号】
高浜市IT工房「くりつく」の指定管理期間の満了に伴い、指定管理者として平成31年3月31日までの間、引き続き特定非営利活動法人くりつく高浜を指定するもの。

【議案第65号】
高浜市生涯学習施設（中央公民館、大山公民館、吉浜公民館、高取公民館、春日庵及び女性文化センター）の指定管理期間の満了に伴い、指定管理者として平成31年3月31日までの間、引き続き特定非営利活動法人全世代楽習塾を指定するもの。

【議案第62号】
高浜市全世代楽習館の指定管理期間の満了に伴い、指定管理者として平成31年3月31日までの間、引き続き特定非営利活動法人全世代楽習塾を指定するもの。

補正予算

【議案第63号】
高浜市心身障害児福祉施設みどり学園の指定管理期間の満了に伴い、指定管理者として平成31年3月31日までの間、引き続き特定非営利活動法人高浜市総合サービス株式会社を指定するもの。

【議案第66号】
高浜市立高浜南部公民館の指定管理期間の満了に伴い、指定管理者として平成31年3月31日までの間、引き続き特定非営利活動法人高浜南部まちづくり協議会を指定するもの。

【議案第67号】
高浜市立図書館及び浜市立郷土資料館の指定管理期間の満了に伴い、指定管理者として平成31年3月31日までの間、引き続き社会福祉法人高浜市社会福祉協議会を指定するもの。

き続き株式会社図書館流通センターを指定するもの。

年3月31日までの間、引き続き特定非営利活動法人たかはまスポーツクラブを指定するもの。

【議案第64号】
高浜市立図書館及び浜市立郷土資料館の指定管理期間の満了に伴い、指定管理者として平成31年3月31日までの間、引き続き社会福祉法人高浜市社会福祉協議会を指定するもの。

【議案第68号】
一般会計の予算総額に歳入歳出それぞれ1億6097万3千円を追加し、補正後の予算総額をそれぞれ134億2561万9千円とするもの。

主要な内容としては、新規事業として、子ども・子育て支援法の施行に伴う子ども・子育て支援制度電子システム構築委託、民間保育園における保育士の確保を進めため、愛知県子育て支援対策基金事業費補助金を活用した保育士等処遇改善臨時特例事業費補助金交付事業、社会福祉法人高浜市社会福祉協議会が旧高浜南部保育園に認知症グループホームの建設することに伴う高浜南部保育園分園移設建設費補助事業、論地こども広場に代わる防災機能を有した

(仮称) 論地どんぐり公園整備工事等です。

【議案第69号】

国民健康保険事業特別会計の総額に歳入歳出それぞれ4795万7千円を追加し、予算の総額をそれぞれ36億4407万4千円とするもの。

【議案第70号】

介護保険特別会計の保険事業勘定を歳入歳出それぞれ5268万6千円を追加し、予算の総額をそれぞれ23億7469万5千円とし、介護サービス事業勘定を歳入歳出それぞれ33万7千円減額し、440万7千円とするもの。

【反対】 〔陳情第7号〕

滞納整理

【陳情第9号】

職場環境の改善だけでは不十分である。再雇用の仕組みなど潜在的看護師の活用を図る。超高齢社会を迎えて医療も増加している中では財源の問題が深刻である。

請願・陳情

12月定例会にて請願1件、陳情9件が提出されました。

なお、請願・陳情の案件名称は、4ページの「議案等に対する各議員の態度」の件名欄をご参照ください。

照いいただき、合わせて本会議の場において採決された結果もご覧ください。

【請願第1号】

【反対】要介護者のサービスを市町村に行なわれることが検討されている不確定な段階である。

高齢者が元気に過ごせるよう、高浜市は生涯現役のまちづくりの施策を進めている。

【賛成】市町村丸

投げでは資格のない方が携わることになり、専門職のヘルパーとの関わりを奪うことは認知症の発見が遅れ、介護度が上がり、介護保険給付が増え、財政を圧迫する。

【賛成】市町村丸業で継続している。

【賛成】生活保護

の申請書を下さいと言わないと渡さないという事例があり、生活保護の水際作戦は行わないでくださいと訴えがある、また、その他、すべて賛同できる内容である。

機構に参加しないでくだ
さいというが滞納整理機
構は徴収実績を上げてい
る。派遣職員の資質向上
にもつながっている。

消費税増税を中止して
下さいとあるが、増税し
た分を社会保障に充てる
ことは理解できる。

職場環境の改善だけでは不十分である。再雇用の仕組みなど潜在的看護師の活用を図る。超高齢社会を迎えて医療も増加している中では財源の問題が深刻である。

滞納整理機構について任
意の団体であり、滯納整理機構に税の徴収事務を移管しないよう求めている。

安心して暮らせる年金制度の確立を求める意見書の提出についても求められている。

【反対】介護保険料は高いといふが介護保険料の多段階制では県下では劣らない。また、当市では妊婦検診は単独事業で継続している。

賃金に国が介入すべきではない。介護保険制度の見直しの議論が行われておらず、不確定の段階で賛否の姿勢を明確にすることはできない。

【賛成】介護職員

の賃金は全労働者の平均賃金と10万円以上も低い実態で、他の仕事を選ぶことになり、待遇を改善しないと介護職員の離職者は減らない。

【反対】財源の確保が必要であるから、消

費税増税はやむを得ない。
医師・看護師・介護職員の確保に影響をなくすため議論中である。

【趣旨採択】さまざま
な対策を立てて医療、介
護の質を向上させるため
に動いている。しかし、
本陳情に理解できる部分
もある。

本音の退職理由は職場環境が2番目、出産や育児と答えたト結果から、大幅増員と夜勤の改善により、労働環境を整えることが大切である。

【賛成】本音の退職理由は職場環境が2番目、出産や育児と答えたト結果から、大幅増員と夜勤の改善により、労働環境を整えることが大切である。

【反対】労働者の賃金に国が介入すべきではない。介護保険制度の見直しの議論が行われておらず、不確定の段階で賛否の姿勢を明確にすることはできない。

【反対】新制度実施の動きに反する意見書は課題の解決を阻害する。幼児教育や保育など、質、量ともに充実が目的である。

【賛成】子ども子育て支援新制度の目的は、保育・子育て分野を产业化することなどにあり、現行の保育所よりもゆるい基準の適用も検討されている。

【反対】財源の確保が必要であるから、消

5ページに続く。

議案等に対する各議員の態度

※議=議案 請=請願 陳=陳情

種類／番号	件名	氏名	議員名														
			正隆	勝彦	広人	敏和	辰夫	信雄	耕一	保夫	央希	紀子	兄文	示子	美重	昌克	
12月定例会																	
議 55 号	高浜市上水道事業給水条例の一部改正について	可	決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
議 56 号	高浜市公共下水道条例の一部改正について	可	決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
議 57 号	高浜市三高駅西駐車場の指定管理者の指定について	可	決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 58 号	高浜市職員の給与に関する条例の一部改正について	可	決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
議 59 号	高浜市南部ふれあいプラザの指定管理者の指定について	可	決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 60 号	高浜市宅老所の指定管理者の指定について	可	決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 61 号	高浜市 I T 工房「くりっく」の指定管理者の指定について	可	決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 62 号	高浜市全世代楽習館の指定管理者の指定について	可	決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
議 63 号	高浜市心身障害児福祉施設みどり学園の指定管理者の指定について	可	決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 64 号	高浜市立図書館及び高浜市立郷土資料館の指定管理者の指定について	可	決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
議 65 号	高浜市生涯学習施設の指定管理者の指定について	可	決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
議 66 号	高浜市立高浜南部公民館の指定管理者の指定について	可	決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
議 67 号	高浜市スポーツ施設等の指定管理者の指定について	可	決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
議 68 号	平成 25 年度 高浜市一般会計補正予算(第4回)	可	決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 69 号	平成 25 年度 高浜市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2回)	可	決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 70 号	平成 25 年度 高浜市介護保険特別会計補正予算(第2回)	可	決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 71 号	平成 25 年度 高浜市水道事業会計補正予算(第1回)	可	決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請 1 号	介護保険要支援者への保険給付継続のため、国に意見書提出を求める請願	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●
陳 7 号	社会保障の施策拡充についての陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●
陳 8 号	社会保障の施策拡充についての陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●
陳 9 号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●
陳 10 号	介護職員の処遇改善を求める陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●
陳 11 号	医師・看護師・介護職員の確保に影響を及ぼす、2014年4月からの消費税増税の実施中止を求める陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●
陳 12 号	「子ども・子育て支援新制度実施にあたっての意見書」提出を求める陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●
陳 13 号	すべての子どもの権利が保障される「子ども・子育て支援新制度」実施を求める陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●
陳 14 号	「商工会を中心とした地域商工業振興に対する支援体制の拡充」についての陳情	趣旨採択	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
陳 15 号	高浜市商工会事業活動支援についての陳情	趣旨採択	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	●	●	△

※ 内藤皓嗣議員は、議長職のため表決権はありません。

3ページより。

【陳情第13号】

〔反対〕 高浜市がこれまでに実績を上げてきた民間のノウハウの活用を否定するものである。

【賛成】

新制度導入までの経緯と準備状況から見て、最新の配慮と十分な検討と準備が必要。

【陳情第14号】

商工会は地域経済の活性化に大きく貢献している。しかし、商工会員を優先的にという個所があり、公平、中立が原則である。

【陳情第15号】

工業用地の創出を要望されているが、市行政として、やるべきものではない。また、高浜市商工会員を優先してという部分は公平に欠ける。

【趣旨採択】

地場産業である瓦産業が安定して継続していくことは必要不可欠である。商工会の会員を優先的ということは公平性の原則から問題。



平成26年度予算編成に対する
要望書の考え方について

《保健福祉》

問 「うつ対策」として「認知行動療法」の普及やアウトリーチ体制の確立、うつ病患者の職場復帰支援を図れ。

答 地域包括支援センターや福祉部門が連携し、必要に応じ専門職や「認知行動療法」を含めた医療へつなげ、職場復帰や再就職も視野に入れ、相談に当たっています。

【問】「生涯現役のまちづくり」

答 定期的に「でいでーる」を発行し、「健康自生地」へ出かけたくなるような記事を掲載し、「高齢者が自ら活動できる居場所づくり助成金制度」も継続して実施してまいります。

問 総合健診等の項目にピロリ菌検査を追加し、胃がん検診「ピロリ菌胃がんリスク判定」



小野田由紀子 議員

の導入を図れ。

答 市としては、引き続き胃がん検診は、エックス線検査により実施し、今後、刈谷豊田総合病院高浜分院との協議の中で意見として伝えていきます。

《教 育》

問 学校図書館の充実を図ることは、専任の司書教諭が配置されることが望ましいという観点から、県教育委員会に要望しているところです。

《防災・まちづくり》

問 高齢者、要援護者の避難体制の整備充実を図れ。

答 本年度中に「災害時要援護者システム」により、要援護者の方に対しても順次、登録への同意を働きかけ、要援護者ごとに、避難支援者を特定し、避難支援の方法や避難場所、避難経路などを取り決める「避難支援プランの個別計画」を、まちづくり協議会、町内会、民生委員など関係機関の協力を得ながら災害時の避難支援を実行性あるものにしてまいります。



杉浦辰夫 議員

高浜市指定有形民俗文化財の「だるま窯」について

問 市指定有形民俗文化財に指定されるに至る過程について。
答 田戸町の「だるま窯」は、大正12年に築造され、原型に近い形で保存されているものは全国的にも非常に珍しく、我が国では最古級に属する「だるま窯」である可能性が指摘され、本市文化財保護委員会において、審議が行われ、市教育委員会が市長と協議のうえ、平成10年に市長と協議のうえ、平成10年に指定をした。

問 管理保存のための謝礼は、年間どれだけ支払いをされていたのか、今後増額があるのか。



問 「だるま窯の周辺に、塩焼瓦の煙突、現在製作中のかわらパ一クなどの観光スポットがあるが散策路に結び付けたいが市の考えは。」

答 「まちの学校」として「ふるさと講座」を開催し、市内外へ情報発信し、その先に「散策路」という考え方でいる。

問 予算編成改革の具体的手法について、「行政評価と決算、複式簿記・発生主義による新たな公会計制度を導入し、財務諸表等を活用した予算編成」、「複数年度予算編成」、「トップマネジメントの強化」の三つを取り入れ、特に平成26年度当初予算編成においては、市長のトップダウンで「メリハリのある予算編成」を期待しますが、いる必要がありますが、管理謝礼の金額を増額する金銭的な支援を行う必要があり、管理謝礼の金額を増額するに至る。

検討を考えている。

問 今後保存会の立ち上げの動きがあるが、市としての協力は。

答 毎年、三州瓦工業協同組合が主催となり、だるま窯取り組み事業として、港小学校の卒業記念作品の製作及びだるま窯に火を入れることによる地域の

人々の交流、瓦文化のPRを目的に保存に向けた活動を実施している。窯を保存・維持管理することができる後継者を育成していくことも大きな課題である。南部地域の住民の皆さんを中心となり、他のだるま窯等の調査に赴き、保存会を立ち上げようとする機運が出ており、市としては、人的支援を含めて、市協力する方向で検討したいと考えている。

予算編成改革について



長谷川 広昌 議員

問 本市の財政状況は硬直化しており、非常に厳しいため、自治体の最大の意思決定である予算編成の「抜本的な見直し」が必要と考えるがいかがか。

答 予算編成手法については、「これがベスト」といったものではなく、今後も引き続いて取り組むべき課題であると捉えています。

問 予算編成改革の具体的手法について、「行政評価と決算、複式簿記・発生主義による新たな公会計制度を導入し、財務諸表等を活用した予算編成」、「複数年度予算編成」、「トップマネジメントの強化」の三つを取り入れ、特に平成26年度当初予算編成においては、市長のトップダウンで「メリハリのある予算編成」を期待しますが、いる



成」の実現は大変厳しいものと捉えているが、本市における「財政の硬直化」は、ご指摘のとおりであり、この実情は何とかしなければならない思いは同様です。今後は、単なる既存事業の廃止や見直しという視点に留まることなく、むしろ、事業の再編・再構築といった視点に注目を置き、総合計画に掲げる「将来都市像」実現に向けて、予算編成に努めてまいります。

問 「財政の硬直化」は現実にあり、今こそ市民は、市長がリーダーシップを發揮し、それを打ち開することで市民生活がより豊かになることを望んでいると私は思います。今後策定する「中期財政計画」の中で、例えば3年後の経常収支比率の目標値を5%抑え、その分の予算額を、市民の皆さんの生活が、より豊かになるような施策への還元や公共施設の老朽化対策のための貯金などの計画に盛り込んでいたいただきたい。

答 「財政の硬直化」という難題に対し、引き続き市長を筆頭に職員一丸となり戦つてまいります。



内藤 とし子 議員

2014年の予算編成と市民要望の具体化について

問 歳入見通しと市独自の財源確保はどのような検討がされているのか。
答 財政繰入金や繰越金を入れ歳入見通しは132億円。そのうち市税が81億円。個人市民税は現年課税分26億6100万円、法人市民税現年課税分6億2500万円、固定資産税35億9300万円、都市計画税7億3200万円の予定です。

問 法人市民税は資本金10億円を超える企業の不均一超過課税を実施する考えは。新たな財源確保についてはどうか。
答 企業が市外や海外に出て行かないよう永続することが目的であり標準課税で行っていく。市税収入の確保、徴収金の収納率の向上、受益者負担の適正化など中期財政計画に沿って進めて行く。

問 強制を伴う町内会の輪番制の資源ごみの分別立ち番をやめ、シルバーに委託せよ。アンケートをとつてはどうか。シルバーに委託するといくらかかるのか。

答 アンケートについてはごみ処理基本計画の見直しにあわせたアンケートをとる予定。シルバーに委託すると500から600万円かかる予定。

問 道路整備について、刈谷碧

答 他からも要望を聞いている。歩道設置には都市計画の認可をとらなければならずその後県に整備してもらおう段取りです。県に要望します。





福祉行政について

問 生涯現役のまちづくり事業
今までの推進体制と進捗状況

答 平成23年10月に「生涯現役のまちづくり調査研究委員会」を総勢40名で立ち上げ、夢のみずうみ村代表の藤原茂先生をお迎えし、平成25年10月まで、約2年間調査研究を実施しました。初年度は、夢のみずうみ村の現地調査、介護予防・健康増進プログラムの考案、地域資源の活用等について議論を行ない、昨年度は、高齢者ニーズ調査を実施し、3グループに分けて議論されました。今年度は、地域の住民と触れ合うことができる場所を「健康自生地」と呼ぶこととし、9月から毎月1回、認定審査会を開催し、21か所を認定しています。

問 今後の推進体制と取り組み方について。

答 新たに「生涯現役のまちづくり実行委員会」を39名で立ち

行政組織について

答 平成16年5月に、「高浜市構造改革推進検討委員会」を組織し、平成17年度から、府内に「構造改革プロジェクトチーム」を立ち上げ、平成18年4月に行政組織・機構の全面的な改革を実施し、平成24年4月現在の市長部局の体制は、6部20グループとなっています。

部局ごとの業務の質と量を見極め、常に効率的で効果的な人員配置をしており、グループごとの業務の繁閑により、部長のマネジメントで柔軟な職員配置ができる環境が整備されており、市民のニーズに応えられるよう、今後も組織改編と適正な人員配置を実施していきます。



黑川美克 議員

上げ、「健康自生地盛り上げチ
ーム」と「課題解決チーム」に
分けて活動し、課題解決にあた
り、次年度以降の事業展開につ
いては、健康自生地を市内全域
に数多く創出できるよう、地域
の商店や企業に働きかけ、多く
の高齢者の方が自宅に閉じこも
らず、健康自生地を巡ることが
できるよう工夫していきます。

市税収入の確保、徴収金の収納率の向上、受益者負担の適正化など中期財政計画に沿って進めて行く。

答 他からも要望を聞いている。歩道設置には都市計画の認可をとらなければならずその後県に整備してもらう段取りです。県に要望します。



答 所を「健康自生地」と呼ぶこととし、9月から毎月1回、認定審査会を開催し、21か所を認定しています。

問 今後の防災教育の取り組み

小中学校の防災教育について

答 高齢化の進展や社会状況の変化によって、増加も懸念されており、市としても対策を強化すべき課題であると認識している。今後は、他市の取り組みを参考していきたい。

問 今後の空き家対策についての考えは。

答 「平成20年住宅・土地統計調査」によると、本市の空き家は470軒で、住宅総数の2・8%を占めている。

空き家の実態・調査について



小嶋克文 議員

問 感受性が豊かな中学時代に被災地を訪ることは大変意義があります。中学生の東日本被災地への派遣について。

答 子ども防災リーダー養成講座や防災ネットきずこう会の事業と連携を図り、中学校へ有志募集の依頼をさせて頂きたい。

問 部活動等において、熱中症で病院に搬送されたケースは。

答 7月に中学2年生の女子がハンドボールの部活動中に、また、中学3年生の男子が9月の体育大会当日に、それぞれ病院に搬送され熱中症と判断された。

問 熱さ対策・熱中症対策について

答 平成28年度完全移行を前倒しして、今年度の後期より小学校5・6年生の総合的な学習時間を利用して、年間35時間程度の防災教育に取り組んでいる。先進校の実践を参考しながら、各校の実情に合わせた実践を開してまいりたい。

問 防災行政について

答 地域の防災行政について、碧海町3丁目にについての浸水被害ですが、こちらも深刻との意見があります。県立職業訓練校に遊水池を設置して、いつまでも防災意識を保つことができるよう、職業訓練校に遊水池を設置する設定にすべきでは。

防災行政について



鷺見宗重 議員

問 乞殿ポンプ、中荒井ポンプ運用については、水位差の作動ではなく、住宅側の水位で作動する設定にすべきでは。

答 稲田川の水位が住宅側の水位より低い場合も想定され、そのような状態での運転は、空気を吸い込みキャビテーション（空洞現象）を発生させることとなり、運転を続けた場合、排水ポンプの羽根の破損をすることがあるため避けたほうがよい

と業社の意見があつた。

問 高浜市も県道の下に太い雨水管を埋めて、遊水池として、活用しては。

答 貯留施設となる大型の雨水管を埋設する場合は、道路への貯留施設への妥当性、道路管理者との構造等を踏まえた協議が必要となる。

また、既に道路に埋設されているガス管、ケーブル管などの占用施設の管理者と協議し移設する場合は、市民生活に支障が出ないような対策が必要となることやその他にも検討が必要とされることも出てくる。

問 碧海町3丁目についての浸水被害ですが、こちらも深刻との意見があります。県立職業訓練校に遊水池を設置して、いつまでも防災意識を保つことができるよう、職業訓練校に遊水池を設置する設定にすべきでは。

答 土地所有者は愛知県であり、高浜市所有の土地ではないため、難しいと考えられます。また、職業訓練校に遊水池を設置する場合、現在の既設の排水路を遊水地に流入するため排水路のルート変更が必要になるため、排水路のルート替えに膨大な事業費がかかるため、現段階では、難しい。

特定秘密保護法について

問 秘密保護法は1941年の国防保安法に酷似している。

答 市行政として、特定秘密保護法が施行された場合、職員の業務にどんな影響が出るのか。

問 国家公務員を縛る法律で地方公務員の業務には影響はないと思われる。





北川 広人 議員

平成26年度予算編成について

問 この26年度が吉岡市長就任2期目で最初の予算編成となり、高浜市第6次総合計画の中長期基準計画のスタートとなる年にあたり、その予算の編成方針は。

答 歳入に関しては市税収入や地方消費税交付金の増により、前年度比2億円増の132億円を見込んでいた。歳出に関しては、「高浜市の今をアシタにつなぐスタート予算」と位置付け、主なものとして、「まちづくり」「関係では、まちに対する愛着の向上につながる事業。「こども・教育」関係では、待機児童ゼロ、子育ち子育て支援の充実や幼保小中の体系的な教育の実現につながる事業。「産業・防災」関係では、企業誘致・企業支援や防災・減災につながる事業。「健康」関係では、認知症対策の強化や生涯現役のまちづくりの推進につながる事業といった「アシタにつなげる事

業」を重点施策として実施する。「厳しい財政運営の時こそ、むしろ、将来に向けた自治体経営の基礎づくりのチャンスである。危機の時にこそ、かえって基礎をしっかりと固めることができること。そして、次の成長へとつながる。」といった強い信念を持った今後の行財政運営に当たさせていただく。

国保財政について

問 国保は厳しい財政運営が続いている。平成26年度以降の財政見通しはどうなっているか。

答 平成26年度の実質的な単年度収支は、医療費の増加により、引き続きマイナスとなる見込みである。平成27年度以降は、退職医療制度の廃止に伴い歳入の交付金が減少し、被保険者の責任に帰さない理由によって、マインナス幅がさらに拡大する見込みである。

問 一般会計からの繰り入れにより、交付金の減少分を負担するよう提案するが、当局の考え方はどうか。

答 保険者、被保険者のそれぞれのバランスの取れた負担の方について、国保運営協議会において議論していきたい。



浅岡 保夫 議員

平成26年度予算編成について

問 地域福祉については。

答 地域で孤立し、困りごとを抱えている方を支援するために高浜南部まち協の「安心生活応援プラン事業」を更に強化します。これは支援の対象から外れていた高齢の親子で日中独居になる世帯への訪問や、スーパーラー・地元商店の協力にて買い物組みを地域の多くの方に携わつてもらひ継続できる体制にむけて検証し、平成27年度以降に他の地区にも広げていきたい。また、市全体の取り組みでは認知症サポーターの拡充に努め、養成研修を実施し、まち協・町内会・金融機関・スーパー・商店等に拡大し、ネットワークの輪を広げていきたい。

問 災害時の要援護者支援体制の整備については。

答 現在要援護者の基となるシ

ステム構築に向けて各種データ等を整理し、導入業者と準備作業を始めています。並行して要援護者の対象範囲、情報の入手方法、支援関係者の範囲、役割分担等を定める「避難プラン全体計画」を策定中です。高浜まち協の「要援護者対策実行委員会」を他のまち協へ働きかけたとしてあります。指定要件が合意、受けただけの事業所とは、体制整備し協定を結びたと考へています。

問 「たかはま版地域包括支援センター」の総合支援体制は。

答 「センターや、スープラーラー・地元商店の協力にて買い物組みを地域の多くの方に携わつてもらひ継続できる体制にむけて検証し、平成27年度以降に他の地区にも広げていきたい。また、市全体の取り組みでは認知症サポーターの拡充に努め、養成研修を実施し、まち協・町内会・金融機関・スーパー・商店等に拡大し、ネットワークの輪を広げていきたい。

問 災害時の要援護者支援体制の整備については。

答 現在要援護者の基となるシ

平成26年度予算編成について



鈴木勝彦 議員

問 世代に向けた「まちづくり」に繋げる仕組みを創れ。
答 たかはま・未来塾では学校では学ぶことのできない専門性の高い講座を小学4年生から中学3年生までの110名を超える子ども達がチャレンジしています。また、市民映画「タカハマ物語」の第2弾の作成に向けて実行委員会を中心に進めていきます。更に、知識・技能を持った人達が子ども達を中心とした地域の人達向けに「高浜（まち）学校」を実施しています。

問 活用を進め、整備・改修等を図れ。
答 指定管理者である「NPO法人たかはまスポーツクラブ」と調整を重ね、利用者の安全を最優先に考え方施設の整備・改修を進めていきます。

実現に向けて、次世代を担う児童・生徒を育てる施策を進めよ。
答 子ども達が、円滑に進んで行ける教育活動の工夫に努めら
れるような異校種間連携事業（幼・保・小・中学校）に取り組んでいきます。

問 子どもの居場所の充実を地域等と共に図れ。
答 子育ち・子育て支援では、民間のノウハウの活用により、待機児童対策や保育サービスの充実を進めてまいります。

問 （仮称）高浜緑地の上部整備の推進を早急に図れ。
答 平成26年度では多目的広場にスポーツ施設を配置する設計を予定すると共に、地域や団体等と、利用・管理のあり方の調整を進めていきます。

問 駐車場の確保について。
答 芳川児童遊園を改修して常設台数117台を確保するため愛知県の基本設計に組み入れるようになります。

て 平成26年度予算編成について



雄信前幸 議員

問 市内事業所の市外移転について、市としてどう考えているか。
答 今回の2つの事業所移転は好調な業績により、工場拡張のための用地が隣接地や市内の他の地区になかったという理由によるもので、優良な事業所が市外に移転することは、雇用の問題はもちろんのこと、税収に大きく影響してくるので、事業所の流出防止・優良企業の誘致を推進することは、喫緊の課題。
問 企業誘致や既存企業の支援で、どのような取り組みを考えているか。
答 企業誘致については、「浜市企業誘致等に関する条例」に基づき、新たな企業誘致を進めるとともに、既存企業の事業規模拡大等に対する支援を進めること。企業の流出防止策としては、今年度から愛知県の産業空洞化対策減税基金事業と連携し、企

An illustration of a grey industrial building with two dark rectangular windows at the bottom. A tall, dark grey chimney is positioned to the right of the building, from which several grey clouds of smoke are billowing out towards the left.

問 指定管理者である「NPO法人たかはまスポーツクラブ」と調整を重ね、利用者の安全を最優先に考え施設の整備・改修を進めています。

(仮称)高浜緑地の上部整備の推進を早急に図れ。

答 平成26年度では多目的広場にスポーツ施設を配置する設計を予定すると共に、地域や団体等と、利用・管理のあり方の調整を進めていきます。

駐車場の確保について。

答 芳川児童遊園を改修して常設台数117台を確保するため愛知県の基本設計に組み入れるようになります。

答 浜市企業誘致については、「高
度化等による企業誘致等に関する条例」
に基づき、新たな企業誘致を進
めるとともに、既存企業の事業
規模拡大等に対する支援を進め
る。企業の流出防止策としては
、今年度から愛知県の産業空洞化
対策減税基金事業と連携し、企

An illustration of a grey industrial building with a flat roof and several small square windows. A tall, dark grey smokestack is attached to the right side of the building, from which a thick plume of white smoke is billowing out towards the top left.

業再投資促進補助制度を創設。
中小事業者に対しては、「新がんばる事業者応援制度」で支援を行つてきたが、効果や課題を踏まえ制度の見直しを行うとともに、商工会とも連携し、経営基盤の安定に向けて支援を実施。

問 工場立地法に基づく、緑地

想定したライフライン整備について。



柳沢英希 議員

平成26年度予算編成について

問 環境美化意識を将来に引き継ぐため、児童・生徒への環境教育は必要では。

答 美化意識を将来に引き継ぐために、子供たちの環境学習を充実させることができ近道であり、26年度は分別体験を各校で実施を予定。子供たちから家庭や大人への啓発に期待している。

問 不法投棄等に対する地域や各種団体との連携は。

答 子供達の作成したポスターの活用といった子供から大人への啓発や、市民が情報不足にならぬようリサイクルカレンダーの全戸配布、分別機会の増大、ごみステーション周辺の方や、犬の飼い主等への環境美化推進委員への登録依頼などといった連携を計画し、不法投棄等への抑制に繋げていきたい。

問 衣浦大橋東交差点の高架事業と社会変化に対応した全市的交通インフラの見直し。災害を

答 高架事業については、早期完成に向け、予算確保の要望を関係各所へ行つていく。架設工事は26年より始まり、29年完成の見通しである。刈谷市まで交差点までを事業区間としています。市内インフラについては、情勢を見つつ高齢者や交通弱者の移動手段「いきいき号」の利便性の向上と安全な道路環境整備を進めます。市道港線では、視認性を高める道路改良を進め、整備後も交通や土地利用変化に注視していく。今年進めている路面状態や照明灯の調査を踏まえ、26年度は維持・修繕計画を策定、国の補助を55%頂き改修工事を予定しております。

水道施設の耐震化は20年度で終了しており、排水管については、災害時に避難所となる(安立荘、南中、高浜分院、翼小)は、25年度で布設替えを行い、国は25年度から5年で、地域防災計画の避難所に指定されている施設(高中、高小、港小、取小、吉小)の耐震管への布設替えの計画を予定しております。「強韌な水

連携・協力できるネットワーク構築を、NPO法人レスキューストックヤードの協力を得ながら進めてまいります。

問 「みんなで犯罪のないまちにしよう条例」の更なる周知や地域と共に防犯対策を進める取り組みについて。



柴田耕一 議員

平成26年度予算編成について

問 東日本大震災や風水害の教訓を生かし、総合的な災害対策の更なる強化の取り組みについて。

答 災害対策において最も重要なことは、災害が発生したとき、に身の安全を守る(自助)ため、正確な情報を知ることである。昨年、防災行政無線を整備、今年4月に防災メールの運用を開始、現在、防災ラジオの有償配布を行なうなど、迅速な災害情報提供のため、情報伝達方法の多重化に努めています。

問 防災資機材の配備と地域防災組織強化の取り組みについて。

問 交通安全対策(歩行者・横断歩道の確保・道路標識の整備・通学路の危険箇所の回避等)の取り組みについて。

答 交通安全対策については、各種団体や関連組織の協力を得ながら連携し、粘り強く取り組んでまいります。又、通学路の危険箇所の回避等については、碧南警察署などの関係機関と共に合同点検等を実施し、危険箇所の改善に努めています。

問 平成23年、「高浜市犯罪のないまちにしよう条例」が施行され、一人ひとりが犯罪の防止を任せにする事無く、自分自身の問題として捉え、地域と共に防犯活動に努める事となつている事から、地域の防犯活動・防犯教育等に対し、関係機関と連携し引き続き支援を行うと共に防犯意識の高揚・対策については、来年度、市内全域で「赤パト大作戦」計画を開催してまいります。

議会改革特別委員会

中間報告

去る平成25年5月16日開催の第1回高浜市議会臨時会で新たに選任された委員及び市議会補欠選挙による新人議員を迎えた8名の委員構成で、今までに6回の委員会を開催してきました。

その中で議長より「議会報告会は議会改革特別委員会で議論開催してきたが、「本来の議会改革」ということに取り組み、報告会は他の機関で運営開催をしたらどうか。」との提案があり、議論の結果、議会だより編集委員会が試行的に開催を担当することになりました。

そこで改めて、「本来の議会改革」の検討テーマが各委員より提出され、8つのテーマを選定し、議論検討を重ねています。

①「決算資料を予算審議資料に基づき当局より提出してもらう」既に9月の決算特別委員会にて提出をうけているもので主な要、新規事業について予

算時に提出された事業内容の結果をチェックしていきための資料。②「本会議討論、自由討議の内容を議会だよりへ掲載について」実施する方向で検討しているが、本会議討論が議会最終日に当たる議会だより発行のタイミングでの調整が難しい。③「オンデマンド設備と動画配信の開始について」議会の中継と録画放送を考えています。

④「一般質問における議員発言席の設置について」「議会傍聴者や配信がわかりやすい形にする。」

⑤「議員定数について」前回の議会報告会アンケートにも意見がありました。

⑥「議長任期の適正化」任期を2年とするものの議会改革」の検討テーマが各委員より提出され、これまでに「意見交換会のやり方とテーマについて」を追加し議論検討を重ねています。

そこで改めて、「本来の議会改革」の検討テーマが各委員より提出され、8つのテーマを選定し、議論検討を重ねています。

①「決算資料を予算審議資料に基づき当局より提出してもらう」既に9月の決算特別委員会にて提出をうけているもので主な要、新規事業について予

● 平成26年 第1回臨時会の日程 ● (午前10時~)		
日曜	会議日程	付 議 事 項
1月 28日 火	本 会 議	開会、市長招集挨拶、会議録署名議員の指名、会期の決定、議案上程、説明、質疑
29日 水	本 会 議	質疑、討論、採決、閉会

● 平成26年 3月定例会の日程 ● (午前10時~)		
日曜	会議日程	付 議 事 項
2月 28日 金	本 会 議	開会、市長招集挨拶、会議録署名議員の指名、会期の決定、諸報告、施政方針、教育行政方針、議案上程、説明、一部採決、報告
3月 4日 火	本 会 議	一般質問
5日 水	本 会 議	一般質問
7日 金	本 会 議	補正予算の質疑、討論、採決、議案総括質疑、予算特別委員会設置、議案委員会付託
11日 火	予算特別委員会	付託案件審査
12日 水	予算特別委員会	付託案件審査
17日 月	総務建設委員会	付託案件審査
18日 火	福祉文教委員会	付託案件審査
26日 水	本 会 議	委員長報告、委員長報告に対する質疑、討論、採決、閉会

(都合により、日程を変更する場合があります。)

議会報告会アンケート 集計結果

来場者数	10名
アンケート提出数	10件

表紙の説明

写真は12月に行われました。年末特別警戒大監視活動。交通指導員や多くの関係機関の方が参加しました。昨年、市内では死亡事故が発生。交通事故を起こさない、交通事故に遭わないことを一人ひとりが心がけ、無事故の1年にしたいと思います。

編集後記

平成26年がスタートしてはや1ヶ月が過ぎました。新年を迎えるにあたり、皆様の思いで新しい年への目標を立てられたことだと思います。高浜市議会も市民の方の目線で議会改革を継続してまいりますので、よろしくお願いいたします。